

## 【課題】

インシデントレポートの分析に基づいたがん薬物療法における教育研修体制の構築

## 【調査の概要】

ハイリスク薬を使用するがん薬物療法はインシデントにより重大な状況に至る可能性があります。そのため、徹底したリスク管理とインシデント発生後の適切な対処が求められます。本調査はがん薬物療法関連のインシデントレポートを抽出し、インシデントの背景要因を教育的観点から分析し、がん薬物療法についてどのような知識・技術があれば再発防止につながるのか明らかにします。この調査により、院内でがん薬物療法に関する教育研修が体系化され、確実かつ安全安心ながん薬物療法の遂行やインシデントの削減効果が期待されます。本調査は医学倫理審査委員会の承認のもと病院長の許可を受けて行われます。

## 【目的】

過去3年間のがん薬物療法関連インシデントの分析結果をもとに教育的観点でがん薬物療法の実践に必要な専門知識と技術の内容について明らかにし、今後の教育研修体制を検討することです。

## 【調査対象】

2019年度～2021年度の3年間に医療安全管理室のシステムから抽出されたがん薬物療法関連のインシデントレポートを対象にします。

## 【方法】

インシデント事例ごとに内容を分析し、教育的観点から再発防止に向けて必要ながん薬物療法に関する専門知識と技術・手技を抽出します。現行の教育研修内容と照らしながら、文献をふまえて新たに必要な教育研修の機会を検討し、がん薬物療法に関する教育研修体制を構築します。

## 【調査期間】

2023年2月2日～2023年4月30日

## 【個人情報に対する配慮】

個人が特定される情報は抽出しません。またデータの識別は本調査専用 to 別途割り振られた番号を使います。ファイルはパスワード管理し、個人情報外部に漏れる事はありません。ご希望があれば、その方のデータは本調査に利用しないようにしますので、4月30日までに次の連絡先までお申し出下さい。本調査の結果を公表(学会や論文等)

する際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

2023年2月

照会先および調査への利用を拒否する場合の連絡先：

〒440 - 8510 豊橋市飯村町字浜道上 50

研究代表者：牧野佐知子

☎0533 - 62 - 0301